



貴船だより

令和3年9月1日発行 第5号
大田区立大森第一小学校
校長 尾上 健二

—健康で安全な生活ができる子—おもいやりがあり仲よく助け合う子—自ら考え行動する子—

学校HPもご覧ください。 <http://academic2.plala.or.jp/omr1-e/>

オリンピック・パラリンピックから学ぶこと

校長 尾上 健二

昨年に続き、我慢の夏になってしまいました。各ご家庭におかれましては、子供たちとどのように夏休みを過ごすか苦慮されたことと思います。今年はどんな夏になったのでしょうか。昨年に比べると猛暑日は激減しましたが、長雨による被害が今年も発生しました。気象災害はこれからも注意しなければなりません。

この夏は延期された東京オリンピックが7月23日から8月9日まで国立競技場を中心に開催されました。ステイホームの呼びかけの中、家で各競技をじっくり観戦できたと思います。以前全校朝会でオリンピックの話を取り上げました。日計表を届けに来た子供たちは、それぞれ楽しみにしていた競技がたくさんありました。この夏、子供たちはどんな競技が心に残ったのでしょうか。オリンピックでは記憶に残るシーンがたくさんあり、改めてスポーツの力が感じられました。

そして今、先週開幕したパラリンピックでは、パラアスリートによる熱戦が各競技場で繰り広げられています。こちらでも連日、パラアスリートの競技する姿、そして活躍に心が揺さぶられています。以前、シッティングバレーボールの体験会で教えていただいた言葉があります。それは「失われたものを数えずに、残された機能を最大限に活かす」というものです。ないものを嘆くのではなく、今ある能力を最大限発揮することを考えて選手の皆さんが努力されていた姿、心構えに感銘を受けたことを今でも覚えています。自分の障がいに向き合い、日々進化を重ねる姿からは、まさにパラリンピックの4つの価値「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」、全てが競技に取り組む選手から感じることができます。閉幕までまだまだ新しい発見、学びがあるパラリンピック、子供たちには貴重な学びの場になることを期待しています。

さて今日から始まる新学期、全国の感染状況についてご不安な家庭もあるかと存じます。学校では引き続き、感染症対策に丁寧に取り組み、子供たちの学校生活がより有意義なものとなるよう、指導に努めてまいります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

避難訓練について

避難訓練担当 塩崎 裕也

本校では柔軟な思考と行動を磨く訓練を積むことで、状況に応じて安全かつ敏速に行動する力を身に付けることを目指して毎月の避難訓練を実施しています。「訓練は本番のように、本番は訓練のように」を合い言葉に、様々な場所や状況にあっても適切な安全行動をとることで緊急時に自分の命を自分で守れるよう指導しています。ご家庭でも災害の際の避難方法や連絡方法など、ぜひ話し合ってみてください。

日	曜日	9月行事予定 ()数字は学年	放課後遊び
1	水	始業式 避難訓練(震災)	
2	木	消防講話 給食(始) 4時間(全)	
3	金	安全指導 誕生会給食(8月生) 4時間(全)	
4	土		
5	日		
6	月	一校一取組 week 夏休み作品展(児童のみ) 全校朝会 委員会活動(4代表・5・6)	
7	火	ユニセフ集会 都・学力向上調査(4) 補習教室	
8	水	ユニセフ募金(~11日) 音楽朝会(全) 都・学力向上調査(5)	
9	木	都・学力向上調査(6) 特別時程 4時間(全) 5-2のみ5時間	
10	金	衛生検査 とうぶ保護者説明会(6) 体育館	○
11	土	土曜授業 土曜補習	
12	日		
13	月	全校朝会 教育実習(始)	
14	火	漢字検定 補習教室	
15	水	児童集会 水道キャラバン(4)	
16	木	誕生会給食(9月生)	
17	金	記名タイム 社会科見学(3)	○
18	土		
19	日		
20	月	敬老の日	
21	火	補習教室	
22	水		
23	木	秋分の日	
24	金		
25	土		
26	日		
27	月		
28	火	補習教室	
29	水		
30	木		

※ 行事予定は変更になることがあります。

9月目標

生活目標「すすんできまりを守ろう」

保健目標「病気やけがに気をつけましょう」

給食目標「ていねいに後かたづけをしよう」



3年生の教室から

3年担任 福原 未来 佐藤 雄太郎 塩崎 裕也

3年生になり、理科や社会科、総合的な学習が新たに加わりました。理科では、植物の生長や昆虫を観察したり、器具を使って実験したりしています。1学期は、ゴムと風の力の学習で、初めて予想し、計画を立てて、実験するという活動を行いました。1回目の実験結果を受けて、どうすればより遠くまで車を走らせることができるのか、考えました。友だちと話し合ったり、協力しながら実験したりと楽しく活動しつつ、学習内容の理解を深めています。



総合的な学習の時間では、自分たちが生活する大田区について学習しています。校内にある海苔の資料室や社会科の学習をきっかけに、大田区の野菜や海苔について調べてみたいと興味関心が高まっています。今後は、国語や社会と関連させながら、大田区について調べてまとめていきたいと考えています。

タブレットを使って、調べたりまとめたりしています。

大田区の食べ物について調べよう

まごめ半白きゅうりは、うえのふぶんが緑色でそこから先に白くなる。
大きさは、20センチから25センチ。



大田区の食べ物について調べよう

馬込半白ふしなりきゅうりは、明治30年代(1895)から昭和30年(1955)ころまでさいばいされていました。このきゅうりの名前は、馬込で作られ、半白(ヘタの部分は緑色でその下が色白)で、ふしなり(くきのふしごとく実がなる)のきゅうりということでもつけられました。ほとんど白く、普通のきゅうりにくらべ柔らかく、好んで食されていました。日持ちが悪く、白いところが黄色く変色してしまうので、馬込の近くで作られ食べられていました。かいらいようなどにより、かくちで作られるようになり、せんそうの後、変質しにくい日持ちする品種が好まれるようになり、また、農地がへり、このきゅうりはへってしまいました。



黄緑色



白色と緑色

水泳の学習は、中学年になり、低学年の水遊びから浮く・泳ぐ運動へと一段高い目標となります。ただ、昨年度、プールに入っていないことや、今年度は、回数が少ないこともあり、水遊びの内容も取り入れつつ、浮いたり、泳いだりということにも慣れていくよう、指導しています。これまで学んできた安全に対する意識や水泳の学習に臨む態度に関しては継続して指導し、さらに今後は生涯学習に通じる水泳への土台をしっかりと身に付けられるよう取り組んでいきます。



夏休みワクワクチャレンジスクール報告

校内担当 長濱 千晶

二年ぶりの開催となった今年度の夏ワク。感染状況を踏まえて少しでも実施できそうなことから準備してきたため、例年と比べて講座数が少なかったにもかかわらず、たくさんの児童から参加申込がありました。

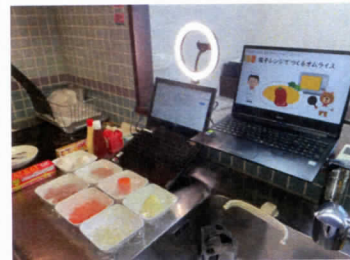
主催者の方々には、感染症対策に考慮しつつ、普段の授業では体験できない学びの場を提供していただいたこと、厚く御礼申し上げます。感染拡大の状況を鑑み、残念ながらオンライン講座のみの実施となってしまいましたが、子供たちが充実した体験を積み重ねられるよう、来年度以降も地域・保護者の皆様のご支援をいただければ幸いです。今年度実施した講座を紹介します。

電子レンジでつくるオムライス

火を使わない簡単クッキングがテーマの講座です。タブレットのGoogleMeetを使って、講師も参加者も全員自宅から参加する形は、学校全体でも初の試みでした。

音声環境の確認から始まり、オムライスに関するクイズで盛り上がった後、いよいよ調理開始。親子で協力しながら、順調に作業を進めていきました。

そしてクライマックス。加熱したプルプル卵が入ったボールに、ケチャップを敷き詰め、平らな盛り付け皿で蓋をします。そのままひっくり返してボールを持ち上げれば、お椀型のきれいなオムライスの完成です。ドキドキしながらボールを持ち上げた瞬間の子供たちの歓声や笑顔が、画面越しにも伝わってきました。仕上げにかいたケチャップのイラストやメッセージが、良い味を出しています。初のオンライン講座でしたが、大きな問題もなく、無事に終了することができました。



漢字検定のお知らせ

校内担当 小林 由紀子

大田区内全校で実施される漢字検定が、本校では9月14日(火)に実施予定となっています。過去の問題を練習してくるよう夏休みの課題として出されていたり、実施日までに宿題として出されたりと、検定に向けて練習を重ねているかと思えます。

漢字検定の問題は、「読み・書き」だけではなく、部首や書き順、同音異義語など、多種多様な内容が出題されます。「漢字を覚えて書く」だけではなく、改めて漢字の成り立ちや、その漢字を使った熟語、四字熟語などにも目を向けて、家庭学習の幅を広げるきっかけにしてほしいと思います。

また、受けるからには、しっかりと合格を目標にして当日の検定に臨めるように、日々の漢字練習に励むよう声をかけていきます。